

家庭科

2年

※MS ゴシック体は学力向上に関わる内容

※下線部は表現する能力の向上に関わる内容

課題分析	授業改善推進プラン
<p>1 知識・技術</p> <p>衣生活は身近な課題の分野で、衣服に興味関心をもち授業に取り組む生徒が多い。基礎的な知識の習得ができている生徒は多いが、発展的な問題や応用力を求められる課題には苦手意識を持つ生徒が多い。基礎的な技術の習得やミシンなどの道具の扱い方が出来る生徒と出来ない生徒の差が大きい。</p> <p>2 思考・判断・表現</p> <p>日常着のコーディネートでは習得した知識を活用し、更に工夫をして仕上げる生徒が多かった。自分の考えや伝えたいことが苦手な生徒が多い。</p> <p>3 主体的に学習に取り組む態度</p> <p>習得した衣生活・食生活の知識や技術を日常生活に生かそうとする生徒が少ない。</p>	<p>1 知識・技術</p> <p>基礎的な知識・技術を確実に定着させ、更に応用、発展させるために、ICTを活用し、例題を数多く用いて考察させる工夫をする。 個別に指導したり、<u>お互いに教えあう環境を作り定着を図る。</u></p> <p>ICTを活用し、衣服の手入れ方法やミシンなどの道具の扱い方や手順などを説明し、基礎的知識・技能の定着を図る。</p> <p>2 思考・判断・表現</p> <p>習得した知識や技能を生活の中で活かせる身近な課題に取り組みせ、考察し応用・発展できる能力を育てる。<u>生活の中の課題を設定しそれぞれが考え整理したレポートやワークシートを基に発表したり話し合う機会を増やし、互いに創造力や発想力、表現力を上げられるように指導する。</u></p> <p>3 主体的に学習に取り組む態度</p> <p>衣生活・食生活の分野で習得した知識や技能を活用し、日常生活の中で自ら考え判断し課題に取り組み、体験学習を積極的に行う。その中で基礎的な技能の向上を図り、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p>